

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナチュラルこどもハウス東中浜店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な経験を持つスタッフが集まっており、それぞれの強みを活かして支援を行っている。	・気軽に相談し合える関係性を築くために、日常的に支援の方法などについて話し合う場を設けている。	・各々の強みをさらに伸ばすために、研修を受講するなどしてスキルアップを図る。
2	・療育スペースが広いいため、個別指導でも集団活動でも、伸び伸びとレクリエーションを行うことができている。	・体を大きく動かすレクリエーションや、複数人で協力する活動、個別課題においても机を使わないカード遊びなど、広さを活用できるよう活動内容を設定している。	・スペースの分離方法を考え、全員が快適に過ごせる環境の整備を行う。
3	・保護者様との情報共有	・送迎時や週末の電話等で、保護者の方に様子を伝える機会を設けている。また、連絡帳では活動中の写真も載せており、活動中の様子が伝わりやすいように工夫している。	・送迎時や電話、連絡帳だけではなく、保護者様の要望に応じて、事業所で情報共有をする時間を確保していく。 ・園や他事業所などとも連携を深め、一貫した支援となるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発語やコミュニケーション能力などへのアプローチの手法が限られている。	・言語聴覚士のような専門職が不在である。	・当該のスキルを持つ職員の雇用や、研修受講などによるノウハウの拡充を図る。
2	・地域住民や保育所などとの関わりを持つ場が確保できていない。	・関係者との時間や場所の調整が困難である。	・事業所でのイベント参加を呼び掛けたり、交流会などに参加して関係作りを行う。
3	・保護者様同士の交流の機会	・保護者様自身の交流会に対する意向が不明であることと、実施にあたっての時間の調整ができていない。	・保護者様の意向も踏まえ、親子向けの機会で保護者様同士が情報交換できる場を企画し、提供することができるよう取り組んでいく。